

- 問1 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
1. 多文化共生社会                      2. 高度情報化社会                      3. 中央集権社会                      4. 持続可能な社会
- 問2 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため                      2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため                      3. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため                      4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため
- 問3 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 土偶                      2. 埴輪                      3. 石包丁                      4. 銅鐸
- 問4 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 三内丸山遺跡                      2. 登呂遺跡                      3. 吉野ヶ里遺跡                      4. 岩宿遺跡
- 問5 約1万年前に地球の温暖化が進んで海面が上昇し、日本列島が形成された時期の生活の様子として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった稲作が本格的に広まり、収穫した米を保存するために高床倉庫が作られるようになった。                      2. 各地で大規模な灌漑施設が整えられ、太陽暦を用いて農作業の時期を管理する生活が始まった。                      3. 強力な支配者が現れ、自らの権威を示すために巨大な古墳を築き、その周囲に埴輪を並べるようになった。                      4. 地面を掘り下げた竪穴住居に住み、弓矢を用いた狩猟や木の実の採集、漁を中心とした生活を営んでいた。
- 問6 約1万以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された                      2. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した                      3. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた                      4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
- 問7 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 三内丸山遺跡 ― 縄文時代                      2. 吉野ヶ里遺跡 ― 弥生時代                      3. 三内丸山遺跡 ― 弥生時代                      4. 登呂遺跡 ― 弥生時代
- 問8 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。                      2. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。                      3. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。                      4. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。
- 問9 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 青銅器                      2. 埴輪                      3. 石包丁                      4. 土偶
- 問10 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。                      2. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。                      3. 狩りや採集で得た食料を煮炊きたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。                      4. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。
- 問11 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。                      2. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあつたことや、防衛のための組織的な仕組みがあつたことを示すから。                      3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。                      4. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。
- 問12 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった                      2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった                      3. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された                      4. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
- 問13 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。                      2. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。                      3. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。                      4. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。